

# 生徒 & 保護者の感想



# 1. 神取 颯太郎くん(中1) 合格体験記

---

## パズル道場と受験勉強

神取颯太郎

開成中学校、筑波大附属駒場中学校、聖光学院中学校、  
渋谷教育学園幕張中学校、市川中学校、栄東中学校 合格

僕は、三年生のときからパズル道場でトレーニングを続けています。中学になっても続けます。はじめは「パズル」と聞いて、楽しく算数ができる、図形に強くなる、という軽い気持ちで始めました。しかし、僕の通っている塾のパズル道場で、中学受験に不可欠である様々な能力が鍛えられることを教わった。それは、空間把握能力・論理的思考力、そして、簡単にあきらめないでねばり強く問題に取り組む姿勢です。

さらには、パズル道場も中学受験も戦略を必要とすることだと思います。

自らがその場で独自の戦略を生み出し、問題を解いていかなければならない点、また、合格するためにどうしたらいいかという戦略を考える・・・パズル道場では自分で戦略を考えるトレーニングができたので、受験勉強で戦略たてることに大変役立ちました。

しかし、それはパズル道場の正しい目的を理解していないと身に付けるのは難しいと思います。真剣に頭を鍛えたいのであれば、毎月パズルオリンピックと懸賞問題に正しくかつ真剣にチャレンジすることは不可欠だと思います。(WEBでのトレーニングを始めたことで、急激にレベルアップしたと思います。)

また、毎月配られる冊子とホームページに掲載されている基本理論をしっかりと読むことも大切だと思います。

僕は、理論をしっかりと理解して問題に取り組むようにしていました。

だからこそ、中学受験に不可欠である様々な能力が備わり、毎日十時に就寝しても合格できたのだと考えています。

また、僕の通っている塾では、パズル道場だけでなく、国語、算数、理科、社会すべてにおいて自分で考えることの重要性を教わった。わからなくても、すぐに質問するのではなく、極限まで考え続けることができたのは、パズル道場で養ったねばり強さと、この教室のおかげだ。どちらかが欠けていたら、合格できたかどうかわかりません。塾の先生、パズル道場の山下先生、ありがとうございました。そして、今年こそは全国大会で優勝したいと思っています。

これからもよろしくお願いします。

## 2. 増本 雄太くん(小5) 伝説名人アンケート

---

① パズル道場を始めたのは何年生ですか？

小学2年生の6月からです。

② 10級から師範までの中で一番苦労した級(段)はどこですか？

3段です。

③ その中で、一番苦労した項目はなんですか？

ナンバープレイスです。

④ その級(段)を合格するまでにどのくらいかかりましたか？

10ヶ月です。

⑤ 一番得意な項目はなんですか？

さいころコロコロとスーパー4色キューブです。

⑥ パズル道場の様々な項目をクリアする為に、自分で考えた様々な作戦があると思います。自分で考えた作戦は、全部でいくつくらいありますか？

多いものでは、1項目につき約50個くらいです。

⑦ これから伝説名人を目指している人へのアドバイスをお願いします。

パズル道場を始めた時、パズルなど全くしたことが無かったので、とてもむずかしかったです。僕は、6級の「さいころコロコロ」で何度も失敗しました。その時は、とてもつらく苦しかったです。でも、あきらめずにどうやったらできるだろうと考え続けるうちに、だんだん楽しくなりました。しかも、できたときの達成感はとても大きく、解き方を考えたり、難しい問題を解いたりすることが好きになりました。今では「さいころコロコロ」は、得意な項目の一つとなりました。

つらい時に乗り越えることができたのは、あきらめずに「あーでもない、こーでもない」と自分で考えたいろいろな作戦をためて答えを見つけていったからだと思います。その積み重ねのおかげで、伝説名人までがんばってこられたと思います。難しい問題をあきらめないでいろいろな作戦を考え、伝説名人を目指してがんばってください！

⑧ 最後に、パズル道場の感想をお願いします。

僕がパズル道場をしていて、今まで心に残った思い出が三つあります。

ひとつ目は、三段のナンプレの検定の時のことです。ナンプレがなかなか解けず、こんなに時間がかかっていたのは初めてでした。だから、初めて検定で解けた時、検定中だったのも忘れて思わず、「やったー！」と叫んでしまいました。すると、先生がにっこり笑って「はい、アウト！」と用紙を取っていきました。やっとの思いで合格できたと思ったので本当にかっかりしました。でもその経験のおかげで問題を解くことだけでなく、ルールをきちんと守ることの大切さを学びました。

二つ目は、全国大会に2回出場できたことです。一昨年の大会では自分の100%の力を出すべき全国大会で、僕は息苦しいほどの緊張感を味わいました。十分な結果が出せず苦い思い出になりました。でも、何時間も自分ひとりで考え挑戦できたことは、とてもよい経験になりました。自分に足りないものを知るきっかけになりました。その一方、昨年の大会では、憧れだった伝説名人の方をはじめ、いつもウェブオリンピックで上位になる方達と実際に会って話すことができ、感激すると同時にますます刺激を受けました。

三つ目は、昨年全国のみみんなとウェブオリンピックで本気で競い合うことができたことです。とても楽しかったです。これからも、毎月のウェブオリンピックやワールドカップで全国のパズル道場生と、そして、世界中の人たちと切磋琢磨して、もっともっと強くなっていきたいと思います。これからも一生懸命がんばります。よろしくお願ひいたします。

### 3. パズル道場全国大会 生徒・保護者の感想

#### 1. 生徒の感想

##### <小3男子>

去年、全国大会へ行きたかったけどダメだった。行ける人がすごくうらやましかった。

今度こそは絶対に行くぞと心に決めて、毎月、懸賞問題やwebオリンピックは絶対にし忘れることのないようになり気をつけた。

だから、今年、全国大会に行くことが決まった時は本当にうれしかった。

大会当日、競技が始まるまで緊張した。スーパー4色では、予選が始まる直前に作戦を練った。というのも手の震えがだんだん強くなってきて、もしかしたら思うようにできないかも知れないと感じたからだ。

予選は2分以内でできれば通過できる。ゆっくりやっても2分以上かかることはまずない。だったら、あわてずゆっくりやろう。

うまくいった。震えながらも1分50秒で、予選は通過した。次の準決勝。これは通過タイムは1分20秒。

手の震えもおさまってきたから、いつもの調子でいけると感じた。

1分12秒。準決勝も通過した。少し、調子が出てきた。緊張もしなくなっていた。気合が入ってきた。次の決勝は、自己ベストを出す気持ちで行こうと決めた。

1分08秒。決勝ではもっといいタイムを出したかった。でも、ぎりぎり3位に入賞した。心の中でやったぁーと叫んだ。

最後の種目の立体4目では、予選敗退となり、総合で20位に入れなかった。20位まで入賞するともらえるトロフィーは今まで見た中で一番かっこいいトロフィーだった。1位のはクリスマスツリーみたいに大きくて、20位のはそれに比べるとかなり小さい。でもどんな大きさのでもいいから、持って帰りたいかった。

来年こそ、僕もトロフィーがもらえるように、これからも頑張っていきたい。

##### <小1男子> ※漢字も原文のままです。

出場が決まったときは、ワクワクしました。

じっさい参加をしたら、とてもきんちょうしましたが、自分の力は全部だせました。

全国には、強い人がいっぱいいました。

ぼくの席からはよく見えなくて、作戦がぬすめなくて、さんねんでした。

いつもランキングでみる、ます本くんや百々くん神取くんに会えてうれしかったです。

来年も、出場できるようにがんばります。

## <中2男子>

全国大会に初参加させていただきました。

さすが全国大会ということもあり、人生で一番緊張しました。

1位を確信していた種目が、せっかくの1位にもかかわらず、失格になってしまいました。今思えば、おごりから集中力を欠いてしまったのでしょう。

しかし、ここから気持ちを立て直して苦手な種目にも集中し全国総合3位という結果を残すことができました。

僕にとって大変多くの貴重な経験を積むことができた素晴らしい大会でした。

切磋琢磨し合える仲間に出会うこともできました。

この経験を生かし、今後も精進していきたいです。ありがとうございました。

## 2. 保護者の感想

### <小3男子の保護者>

こどもが自分で考えて行動するなどという機会はめったにありません。

頼る親もいない中で、ひとり頑張ってもらいたいという思いで、大会は見学しませんでした。

とことん精神力を鍛えてほしいと願い、会場入り口で送り出しましたが、大会終了後、わが子の今にも倒れそうな、くたくたに疲れ切った姿を見て、いかに過酷な(笑)大会であったかを感じ取ることができました。

いつもと違う空間の中で、平常心で挑むことのむずかしさを今回、我が子は感じたと思います。

絶対にぼくは緊張しない！と強気なことを言っていたにもかかわらず、本番ではものすごく緊張して、一瞬頭の中が真っ白になってあせったと言っていました。たった1日で、さまざまなことをこどもなりに体感して帰ってきたと思います。

失敗も成功もすべてが次につながるステップとなりました。本当にいい経験をさせていただきました。

もともと強い精神力、集中力、見えない学力を獲得してほしいと願い、パズル道場へ通わせましたが、こども自身が大会への出場を目指すという気持ちになり、目標ができたことで、意欲がさらに増しているように感じています。

このような大会に出場させていただいたことに深く感謝いたします。どうもありがとうございました。

### <小4男子 保護者>

緊張感で張り詰めた雰囲気の中で集中している子供たちの姿に感銘を受けました。

「自分の作戦を立てる」という指導方針に共感を覚えていましたが、課題への取り組みにとどまらず、休憩や食事まで含め、自ら考えさせるようなプログラム設定も素晴らしいと思いました。

よい体験の機会を子供に与えていただいた事といろいろご準備をいただいた先生やスタッフの皆様にお礼申し上げます。

ありがとうございました。